

「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
1	コロナ禍で先が見通せない時代だからこそ、特に、全国の音楽通から「徳島に行ったら素晴らしい音楽が聞ける」って言ってもらえるような、最高の音質を持つホールを建設してほしい。ここまで建設が遅くなったからには「最高のものができて本当によかった。あのとき下手に妥協しなくてよかったね。」とみんなから言ってもらえる格別のホール、音楽家が指名してくる音楽ホールを建設してください。	ご要望に応えられる、良い施設となるよう努めてまいります。
2	これまでの取組、基本的事項、等整理されていてわかりやすいと思います。施設の説明と併せて、本計画の位置付等も整理されると良いと思います。東北地方ではこの施設と類似の新設がされています。良い事例を参考にし、時代に即して、機能を吟味した設置をお願いします。また、他県の最大席数状況を記載していますが、古いものも多く、これらも社会的要求や機能が進歩しています。検討の経緯等も丁寧に記録していただきたいと思いました。SDGsの実践、環境面からは脱炭素等の要求からZEBも想定する必要がでてきます。防災の観点からの要求も浮上します。管理が指定管理の施設も増えています。柔軟な発想での公共サービスが増えています。時代にあわせて変化に対応しながら長く使われる良いものが出てくることを期待します。	ご指摘のとおり、公立文化ホールに求められている役割や機能は、時代の経過とともに変化をしてきておりますので、近年整備の他県施設の事例や専門家の意見も参考に、新ホールが長く県民に親しまれて利用されるよう努めてまいります。
3	7ページで、アスティとくしま(徳島県立産業観光交流センター)の施設に多目的ホールとプライダルコアときわホールとあるが、ときわプラザ(徳島県立男女共同参画交流センター)にプライダルコアときわホールがあり、アスティとくしまと、ときわプラザは組織的に別物です。	プライダルコアときわホールは、アスティとくしま内にある施設でございますが、誤解を招かないよう、記載を修正いたしました。
4	時間制約があつてやむを得なかつたかもしれませんが、県民・市民の声をもっと広く聞いていただく機会を作つて、その意見を大事にしたいと思つたと思います。県市協調未来創造検討会議には県民・市民からの公募メンバーは一人も居なかつたことから、一般的な県民・市民の意見とは言い切れないことから、届ける手段としては力不足なものと考えます。今後、基本計画に進む以前に、県民・市民に事業内容を説明し、広く県民・市民の意見や希望を集約する機会を持つていただき、県民・市民が参加して作る新ホールとするような配慮をお願いします。私は、県民・市民の一人として、新ホールとそれを取り巻く環境が、徳島県には今までにはなかつた「芸術の香り高いセンスある文化ゾーン」として、地元の人々が親しみ、県外からも人を呼べるランドマークになることを祈つてやまないものです。	県民の幅広い意見を聞かせていただくため、令和2年10～11月に県民アンケートを実施するとともに、県市協調未来創造検討会議において、県内文化団体や経済団体、学識経験者等で構成される委員の皆様より貴重なご意見をいただいたところです。さらに、基本計画(素案)の内容について、今回パブリックコメントを実施させていただきました。今後とも、県民の貴重なご意見をいただきながら、新ホール整備を進めていくことが必要不可欠と考えております。
5	客席数のことですが、アンケートでは2000席以上を望む数が圧倒的です。疑問なことは、アンケートの締め切り前に県が1800席から2000席と会議に案を示したことです。1800席から2000席とした根拠は素案にも示されておられません。パブリック・コメントで得た意見を出来るだけ多く反映していただき、年度末策定を目指す計画がよりよいものになるよう希望するものです。	県民アンケートにおいては、先進事例との比較から、「2000席以上」との答えが半数あり、専門家からも同様の意見があったことから、「2000席」を目標の上位値としました。一方で、「1800席～1999席」の回答も2割程度あり、「席数にはこだわらない」との回答や、メインホール以外に「中小ホール」や「リハーサル室」等が必要との回答が多く、他施設とのバランスが求められていると考えられること、また、「1800席規模」の「使い勝手」や「音響」について、専門家からの評価が高かったこと等から、全国状況も鑑みた上で、「1800席」を目標の下位値として示したところです。
6	アンケートに名称に関する設問は無かつたし、県市協調未来創造検討会議でも取り上げられていないようなので、今後決まると思うのですが、現在は県立ホールとして整備すると表現されています。報道では県立ホールと表記しています。ただ、そのままに県立ホールとしたのでは、市民無視となりますので無理があると思います。県民ホールとすればだいぶ意味は違ってきます。	施設の名称の決定方法については、今後、検討してまいります。
7	基本目標において、新ホールを建設するにあたり「夢と希望あふれる未来を創生する」という文言が漠然としていて、新ホール建設により県民生活に具体的などのような文化的な効果をもたらそうとするのかが見えません。劇場法の趣旨を踏まえ、例えば「・・・、県民に心豊かな生活を実現する場を創設する」くらいの分かりやすさを求めます。	新ホール整備の効果は、文化のみならず様々な側面があるため、広い視点での目標を掲げており、劇場法の趣旨については、「施設の使命」において整理しているところです。
8	文化センター跡地から現中央署までもを一体的に再整備しようとするについては大賛成です。元々、寺島川が流れていた地であり、このたびの新ホール整備に併せて“一体整備”を行おうとするのであれば徳島中央公園から景観的にも連続性、統一性を保った空間としてほしいと考えます。現況の「寺島公園」は土が剥き出しのままので幼児用遊具や古いトイレが残つていて「現況のまま」では相応しくないと考えます。せめて、新ホールからちかどき橋北詰のまちぼうけ広場まで歩道だけでなく新たに整備する公園内を雨天時でも散策できるような構造(遊歩道は石畳にするとか)が望ましいと思います。また、現・寺島公園を中心にもっと緑(樹木)が多く、日陰とともにベンチと東屋などの整備、イベント時にキッチンカーなどが立ち寄れる空間など、常時市民等が憩える文化・芸術空間としてご検討いただければと思います。	「寺島公園」については、来館者の一時滞留する場等になることも想定しているため、現況を活かして、公園機能を維持することとし、いただきましたご意見を参考に、可能な限り、緑化等に努め、用地全体の魅力向上につながるよう、徳島市と協議してまいります。
9	寺島公園は地表面がポコポコのところがあるので改めて整地の必要がある。	

「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
10	なぜ新ホールは旧徳島東工業高校跡地に作らなかったのでしょうか。アクセスもスペースも十分条件が整っていたと思うのですが。	これまで徳島市において、長期間にわたって行われてきた「土地条件」や「交通条件」、「周辺条件」、「建設工事期間」等の様々な角度による建設予定地の検討を経て選定した「旧・徳島市立文化センター跡地」に、「現・青少年センター敷地」、さらに「現・徳島市中央公民館、徳島市社会福祉センター敷地」を一体的に活用する形で、敷地面積を拡大させて、新ホールの建設予定地といたします。
11	ホールの建設は望んでおりましたが、まさか、人物デッサン、クロッキーをする会等の開催を続けてきたトモニプラザが使えなくなるとは夢にも思いませんでした。ホールは、舞台芸術や演奏家にとって凄く望まれたものだと思いますし、私も観るのは好きです。ですが、かつて市民参加で決まっていた計画に、あれもこれも盛り込み、十分使いこなせなくなれば、結局は商業的な興行にたよることになるのではないかと心配です。翻って美術の製作についての場所などには、計画がありません。支援する分野をまた、偏らせてしまうのではないのでしょうか？2000席の妥当性は、私には理解できません。しかも、駅を作るとか。日常生活での交通の便を充実させることをもっと大事にして頂きたいです。	新ホールにおいて、県民アンケートや県市協調未来創造検討会議での意見等も踏まえた上で、大ホール・小ホールに加え、多目的スタジオや活動室・会議室等を設置してまいることとし、各種講座など、可能な限り、多彩な活動分野の方々が日常使いの場としてご利用できるよう努めてまいります。
12	巨大な建築物を建てるのにその中に、青少年センターの体育施設を移転するスペースは無いのでしょうか。現状の設備と同等の施設への移転ならば納得もできますが、何も無いところに突然「機能移転」と言われても、納得もできないし、現在のところ不安しかありません。武道館や市立体育館もありますが、他のサークルが既に利用していたり、利用料、アクセスの問題もあり、すんなり解決するとは思えません。新ホールの稼働率、利用率を向上させるなら定期的に利用するサークルを取り込んで徳島の文化、体育両方の発展を目指すべきではないかと思えます。	アミコビルに移転予定の新たな青少年センターにおいて、スポーツコートやフィットネスジム、ダンススタジオ等の機能を備えた整備を進めてまいるとともに、新ホールにおいても、可能な限り、多彩な活動分野の方々を日常使いの場としてご利用できるよう努めてまいります。
13	中央公民館、青少年センターを利用しております。アミコビルへの移転等の計画ですが、ミーティングルームや運動施設以外にも茶室と調理室の移転先の検討もしていただきたい。既存施設を活用したり(茶室の場合は徳島城博物館やふれあい健康館や文学書道館の和室の改装、調理室はふれあい健康館他)、アミコビル以外の場所も含めて改装等に対応をお願いします。	徳島市にも情報共有を図り、茶室・調理室等の既存施設利用者ができるだけ不便とにならないよう対応させていただきます。なお、アミコビルに移転予定の新たな青少年センターにおいて、和室やキッチンスタジオ等の機能を備えた整備を進めております。また、例えば、あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)にも、茶室や和室を設けているため、既存施設の施設利用の周知もさせていただきますと考えております。
14	徳島市民にとって中央公民館・社会福祉センターの解体は納得できません。7億円近くの経費をかけ、耐震・リニューアル工事をしてまだ5年と経過していません。社会福祉センターでは障がい者や高齢者が年間延べ32000人利用している福祉の殿堂です。高齢者の居場所がなくなります。計画案を盛り込む方法として高層化を検討していただき、この二つの建物は残していただきたいと思えます。徳島市民も徳島県民です。市立ホールでなく県立ホールとして、小さい自治体よりも大きい組織の手によってできることには賛成です。しかし、もう少し私たちの立場もご理解いただけたらと思えます。	今後長く利用される新ホール整備は、このエリアのグランドデザインの核となる重要な事業と考えています。現時点の状況と長期にわたる事業効果等を総合的に判断して、新ホール整備を行っていくことといたしました。新ホールにおいても、障がい者や高齢者の方等がご利用しやすいよう、施設のバリアフリー化を進めるとともに、幅広い方々が主体的に参画できるイベントや講座などの取組を進めてまいります。
15	利用者減少が続き、ダイヤ本数も減るJR牟岐線にあつては、新駅設置によるコスト増や所要時間の増をもたらすこととなり、また、大規模講演・イベントに合わせたダイヤ設定は現実的でなく、現・富田駅のような仮設的な構造物設置は景観上も好ましくありません。市バス等による公共交通確保が得策と思えます。市役所側からの陸橋については架け替え(or化直直し)を望みます。	新ホール建設予定地周辺は、新・徳島中央警察署や裁判所、城東高校、徳島市役所、税務署など公共施設が集積しております。こうしたエリアへ、新ホール整備に伴い、「周辺道路の渋滞」や「駐車場不足」が懸念されることから、「子どもから高齢者」まで全ての県民の皆様が利用しやすい環境を整備するため、公共交通機関によるアクセスの充実を図ることが重要であると認識しております。そこで、新ホールへのアクセス向上はもとより、周辺施設への利便性向上を図り、車から公共交通機関への転換促進による「カーボン・ニュートラル」の推進など、多くの効果が見込まれる、新駅の設置が必要と考えております。今後、新駅の早期設置を目指し、徳島市やJR四国との詳細な協議を進め、可能な限り円滑に利用者が来館できるよう努めてまいります。
16	都会のように頻繁に電車(列車)が往来することは、現在のJR四国では考えられません。このエリアに予算を投入して新駅を作っても、費用対効果では無駄な投資を思われます。アンケートでも、主にどのような交通手段で行くかとの問いに、自家用車が断然多く、次いで二輪車・自転車とあって、次がJRとなっています。このJRは徳島駅を指しているものです。また、会議でもこの新駅のことは何ら触れられていません。ホール建設には多額の経費がかかりますから、新駅のための予算はホール建設の方へ回すべきと考えます。	新ホール建設予定地周辺は、新・徳島中央警察署や裁判所、城東高校、徳島市役所、税務署など公共施設が集積しております。こうしたエリアへ、新ホール整備に伴い、「周辺道路の渋滞」や「駐車場不足」が懸念されることから、「子どもから高齢者」まで全ての県民の皆様が利用しやすい環境を整備するため、公共交通機関によるアクセスの充実を図ることが重要であると認識しております。そこで、新ホールへのアクセス向上はもとより、周辺施設への利便性向上を図り、車から公共交通機関への転換促進による「カーボン・ニュートラル」の推進など、多くの効果が見込まれる、新駅の設置が必要と考えております。今後、新駅の早期設置を目指し、徳島市やJR四国との詳細な協議を進め、可能な限り円滑に利用者が来館できるよう努めてまいります。
17	昔、何かの講演を聞きに行くため、徳島駅から文化センターに歩いた際、突然の雨で、びしょ濡れになったことがあり、徳島駅から意外と近いようで、遠く感じたことがありました。新駅がホールの近くにできれば便利になると思えます。できれば、雨にぬれないような措置をお願いします。	新ホール建設予定地周辺は、新・徳島中央警察署や裁判所、城東高校、徳島市役所、税務署など公共施設が集積しております。こうしたエリアへ、新ホール整備に伴い、「周辺道路の渋滞」や「駐車場不足」が懸念されることから、「子どもから高齢者」まで全ての県民の皆様が利用しやすい環境を整備するため、公共交通機関によるアクセスの充実を図ることが重要であると認識しております。そこで、新ホールへのアクセス向上はもとより、周辺施設への利便性向上を図り、車から公共交通機関への転換促進による「カーボン・ニュートラル」の推進など、多くの効果が見込まれる、新駅の設置が必要と考えております。今後、新駅の早期設置を目指し、徳島市やJR四国との詳細な協議を進め、可能な限り円滑に利用者が来館できるよう努めてまいります。
18	ホール建設も大事だがアクセス路線の新設が望ましい。現在ある引き込み線の位置に新駅を設置して、徳島駅と新駅のためのシャトル列車を新設する。(これなら牟岐線の運行に影響が少ない)あるいは、鉄道高架事業を徳島駅から新町橋鉄橋まで実行する。これによるメリットは国道192号アンダーパスの盛土、高架化によって市役所側からホール側へ歩いて行ける。消防車が国道からでなく直接市役所側へ通行できるなどメリット大である。新駅のネーミングライツや、クラウドファンディングなどを活用して、予算の適正化を果たしてほしい。	新ホール建設予定地周辺は、新・徳島中央警察署や裁判所、城東高校、徳島市役所、税務署など公共施設が集積しております。こうしたエリアへ、新ホール整備に伴い、「周辺道路の渋滞」や「駐車場不足」が懸念されることから、「子どもから高齢者」まで全ての県民の皆様が利用しやすい環境を整備するため、公共交通機関によるアクセスの充実を図ることが重要であると認識しております。そこで、新ホールへのアクセス向上はもとより、周辺施設への利便性向上を図り、車から公共交通機関への転換促進による「カーボン・ニュートラル」の推進など、多くの効果が見込まれる、新駅の設置が必要と考えております。今後、新駅の早期設置を目指し、徳島市やJR四国との詳細な協議を進め、可能な限り円滑に利用者が来館できるよう努めてまいります。

「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
19	現在の路線バス停留所の場所の移設やユニバーサルデザインに沿ったバス寄せ、待合スペースの整備をし、公共交通利用増に向けた絵を描いていただきたいです。	いただきましたご意見につきましては、今後の施策を推進する上での参考とさせていただきます。
20	徳島県のランドマークとなり、災害対応も含めた素晴らしい施設になるものと確信しておりますが、1点のみ非常に懸念しているのが駐車場です。屋外100台は非常に少な過ぎます。県内公共施設の付帯設備の貧弱さからくるさまざまなトラブルをまったく考慮していないと思います。ホールとは異なりますが、アスティとくしまは実はアリーナクラスのコンサート会場としては観客席からステージが近いため非常に人気があります。しかし、交通アクセス、とくに駐車場の貧弱さの問題を抱えています。自走式立体駐車場であれば高額な費用は不要ですので、中央署跡地は少なくとも300台以上収容できるものにすべきであると思います。イベント開催時に国道11号線がさらに渋滞を引き起こす事態は絶対に避けるべきであると考えます。	県民アンケートでは、「自家用車」による来館が最も多いという結果が出ており、イベント主催者や車でなければアクセスできない方々もいらっしゃるため、「徳島市における建築物に附置する駐車施設に関する条例」を踏まえ、新ホール周辺に一定台数の駐車場を設置することは必要と考えています。一方で、新たな駐車場整備により渋滞の発生を懸念する等の意見も多く寄せられており、他県類似施設においても、同様の課題があり、周辺民間駐車場の活用を図りながら来館を促進するケースも見られる状況にあります。新ホールにおいても、徳島中央警察署跡地等に駐車場スペースを一定数確保した上で、周辺民間駐車場や既存県立駐車場の活用を図るとともに、「カーボン・ニュートラル」の観点から、公共交通機関による来館を促進してまいりたいと考えております。駐車場の空き情報を確認できるアプリ等のご提案については、今後の施設整備の参考にさせていただきます。
21	新ホールの半径500m以内には1,100台の民営駐車場があり、基本的には一般来場者向け駐車場を新たに整備する必要はないと考えます。仮に無人パーキングとすると新ホールでの当該イベント来場者向けとすることは困難で周辺の中州市場等を目的とした人に占有されることは明白です。こうしたことを排除するために人員配置や仕組みを作るためのコストをかけるなどは論外で、折角新たに生まれた用地は市民や域外から訪れる多くの方が憩えるゆとり空間とすべきと考えます。また、市道中州・徳島線は、国道11号と192号、JR牟岐線に囲まれ、外側に向けての青信号時間が短く、一度渋滞すると解消が難しいと思われれます。バス・タクシー等公共交通のスムーズな輸送に影響をもたらすことにもなれば本末転倒です。駐車場を整備するとしても素案に記載されているとおり、優先順位の高い方向けのものをホール近くに整備することが望ましいと考えます。	
22	寺島公園の南側の「駐車場」については設置不要と考えます。「ホールイベント実施時に自家用車両に限られた駐車スペースに殺到し、渋滞の発生が予想され、その解消に向け警察人員や民間警備職員等の労力・コストが大きいこと」、「こうした車両が周辺店舗等の駐車場に不法駐車するなどの迷惑行為が発生すること」、「その対応は、日々、管理者の負担を増大させること」、「街中における駐車場整備は、元来無機質で、憩いやうるおいの空間とは逆のイメージを形成すること」、「中央公園から新町川や県庁に至るゾーン内の動線を遮断してしまうこと」、などの理由から、文化・芸術ゾーンや地域の庭、日陰空間の創出、広場(余裕)空間などとして整備していただきたいと強く望みます。	
23	徒歩で概ね15分圏内エリアには公営、民営駐車場が相当数あり、これらを利用してもらうことで公共交通利用者だけでなく、自家用車利用者にもホールイベント前の待ち時間や終了後の余韻を楽しむための飲食店等の利用が増大し、これらの集積(新規出店、リニューアル)が期待できる。ただし、大規模イベント時にはホールに近い駐車場から順に混雑渋滞が発生することが予想されるので、ネット上から随時駐車場の空き情報を確認できるアプリ等が必要と思われる。また、バス、タクシー利用へ誘導させるため、例えばバス、タクシーが優先的に出入りできる乗降場の整備、信号制御などにも配慮してほしい。基本的に都市部に立地するコンサートホールには来場者用の駐車場は設置されておらず、新ホールにおいてもホール建物以外のスペースは、「広場機能」「公園(緑地)機能」「野外ステージ機能」などを持たせ、イベント非開催時でも市民が憩える空間整備を行ってほしい。	
24	駐車場が確保されたアスティでも、コンサートの際には周辺道路が大渋滞しています。それより駐車場が狭い新ホールでは、車以外で行ける手段が必要だと思えます。遅い時間のコンサートだと、バスもないのでJRで行けると助かります。	
25	警察署の敷地を駐車場にするのは、イベント開催時に渋滞が懸念されます。もし設計競技を行って広く計画案を募り選考するのであれば、計画の敷地全体(公園も含む)をどう使うかは建築家に自由に考えてもらうのが良いと思います。ホールと直結する予定の新駅も含めてデザイン案を考えてもらうのが良いと思います。つまり、ホール、駐車場など必要な機能をプログラムとしてリストアップし、また、周囲の環境(周りの主なランドマークや周辺の性格、道路の特徴、鉄道の新駅ができることなど)の説明も要項に盛り込み、敷地の割り振りやどこにどのプログラムを持つてくるかは建築家に自由に考えてもらったほうが魅力的な施設ができると思います。	
26	今回、寺島公園をどうするか明確にされていませんが、この公園は従来より鳥獣に餌を与えに来る人が絶えず、気が付けば芝生にパンくずが落ちている状態です。その為、徳島市東消防署をはじめ近辺のマンションやビルにはカラスや鳩の居場所となり糞害に絶えず悩まされております。見たところ寺島公園利用者は非常に少なく市民の憩いの場とは言えないのが現状の様ですが、この際寺島公園を駐車場として整備し、一部を月極にして頂けないかという提案です。月極駐車場にして頂くと、現在遠くに駐車場を構えている人達が沢山移動してくるのは必ずですし、そしてそれは必ず毎月の自治体の収入源となります。	

「縣市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「縣市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
27	徳島市内は、自転車利用者も多く、特に高校生等が一斉に集まるイベントなどでは数百台(500～800台)の駐輪スペースが必要です。これらも考慮し、ホール近隣に利用者限定の駐輪場を設置し、駐輪スペース必要時には駐輪場として利用可能とするなどの検討が必要ではないでしょうか。	駐輪スペースについて、可能な限り確保できるよう努めてまいります。
28	徳島県は芸術や文化全般の後進県であると自認する県民は多いと思われますし、私もそれに異議はなく、これほど遅れている県は無いと思っていますが、それはひとり乏しい文化施設ゆえのことでは無いことを識者は知っているはず。新ホール建設というハード面とともに、ソフト面として、芸術を楽しむ土壌づくりを、行政としてどうするのか、民間としてどうするのか、本格的に行政から投げかけて欲しいと思います。芸術の楽しみ方を県民・市民が獲得することは素晴らしいと思います。それが県民・市民の目に見えない財産となっていくと思います。	新ホールの整備にあたっては、ハード整備のみならず、ソフト事業の展開についても非常に重要な要素であると考えています。「事業展開」については、22～24ページにも基本的な考え方を記載させていただいておりますが、今後、管理運営の具体的な内容をお示していきたいと考えております。
29	徳島県下にアマチュア・オーケストラは存在しますが、土壌づくりの一環として、音楽レベル向上を目指すためにはプロ・オケの存在は欠かせません。県下のアマ・オケをプロに育てるのは今更無理ですから、在阪のプロ・オケと事業提携する方法があります。1か月に最低1回の新ホールでの定期演奏会、学校を訪問してのいわゆるスケール・コンサートなど積極的に徳島の音楽文化向上にかかわっていただく、いわば、そのオケにとつての徳島は準本拠地であるという位置づけで提携できればいいと思います。	徳島県においては、阿波おどりや阿波人形浄瑠璃の歴史が培う「邦楽」、30年を超えて徳島市内で「徳島ジャズ・ストリート」が開催される「ジャズ」、「ベートーヴェン・第九」に代表される「クラシック」を「あわ三大音楽」に位置づけ、県民主役の音楽文化の発展に取り組んできたところであり、新ホールにおいても、音楽をはじめとした多様な文化の創造発信や鑑賞機会提供等の場となるよう、いただきましたご意見は参考にさせていただきます。
30	外来オケ、外来オペラの日本ツアーの呼び込み、国内オケ、国内オペラ、歌舞伎、ダンス、ミュージカル等々、徳島県民が県外へ拝見に行くように、県外から人を呼ぶことができるレベルの高い公演を次々と企画できる人材の登用が必要だと思います。例えば、ベルリンフィルが日本ツアーをする年には、東京、大阪、福岡あるいは川崎だけではなく、必ずとくしまでも新ホールでコンサートを開きます。ミラノ・スカラ座のオペラ公演は来日公演がある年には徳島でも公演しますなどということになると、日本中のファンが押しかけてきます。あるいは世界のファンが徳島へとやってきます。それはアンケート結果にもある通り、私たちが県外へレベルの高い公演を追って出向くのと逆現象が起こることです。	新ホールについては、「県民に優れた文化芸術を鑑賞する機会を提供する」ことを、施設の使命のひとつとしておりますが、事業を実施するための必要な専門的能力を持つ人材の養成・配置が重要であり、総合プロデューサーや芸術監督の配置等について、他県施設の事例等を参考に検討してまいります。
31	大規模イベントや全国的な各種学会ともなれば、開会式等で3千人以上、ことによれば1万人クラスの会場が望まれることも多い中、本県では唯一アスティとくしまだけがその会場となり得るものが多い。新ホールといえども最大2千人未満であり、「近隣施設との連携」を記載するのであれば、アスティとくしまを「その他」として扱うのではなく、項目出しをした上で、その役割分担等について記載すべきではないでしょうか。また、近隣施設として公共施設だけを挙げるのではなく、コンベンション誘致やコンサート誘致にはホテルの利用は欠かせず、それらについても言及した方がよいと思われます。	項目出しはしていませんが、考え方を27～28ページに整理しているのとおり、近隣施設との連携を図ることは重要であると考えております。
32	活動室のうち一箇所は阿波踊り活動室とし、有名連に限らず様々な阿波踊り連が、日常的な練習に優先的に安価で使用できるようにしてもらいたい。東京・杉並区立の文化施設「座・高円寺」にある阿波おどりホールをモデルとし、160平米くらいで、防音、下駄使用可能、大きな姿見設備という仕様がのぞましい。普段使いされることで文化創造の拠点として新ホールが活性化されるはずである。	いただきましたご意見は参考にさせていただき、「阿波おどり」や「阿波人形浄瑠璃」など、徳島を代表する伝統文化の公演や練習が活発に行われ、「徳島ならではの」特徴を持った拠点として整備を進めてまいります。
33	大ホールの舞台では阿波踊り公演も想定される。阿波踊りの下駄使用が可能な資材の床面とすることが必須である。このような細かい仕様は見落としがちで、そうすると落成後に阿波踊りの下駄禁止などということになりかねないので、早めに計画に盛り込んでもらいたい。	
34	県内産木材を多く使用し、改修も県内産業の活躍を想定し、できるだけ県内の産業が循環するような仕組みでの基本計画をお願いします。	内装を中心に、可能な範囲で県産材の使用について配慮してまいります。
35	建築物の設計は曲線を多用すると維持管理費がかさむ。直線を多用し、管理コストを下げつつ、徳島城敷地内という文化的、歴史的背景を尊重した外観としてもらいたい。	いただきましたご意見を参考にさせていただきます。
36	客席は、次の事例を参考とし、また高齢化率の高まり等も考慮し、座席の幅、前後間隔ともに座席幅530mm以上、前後間隔は950mm以上のゆったりとした配置を望みます。 大阪フェスティバルホール (幅)530mm(前後間隔)940mm 兵庫県立芸術文化センター(大) (幅)530mm(前後間隔)930mm アクトシティ浜松(大) (幅)525mm(前後間隔)950mm また、座席の間隔のみならず、座席の連続横並び数も16程度までに抑え、通路から真ん中あたりの座席までの出入りに無理がないよう配慮をしていただきたい(高齢者、障がい者、妊婦等への配慮)	

「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
37	音響効果も大切ですが、観客の皆様方が、心地よく観覧出来る事が一番大切だと思います。東京都内のある会場で、イスの高さが全て同じで、前の人の後ろ頭が眼にとびこんできました。折角楽しみにしていた公演が、頭を左右にふりながら観ていると、私の後ろ人にも同じよう光景になります。前のイスの高さから次のイス高さを差をつけて、映画館シアターみたいにして頂けるよう設計を是非していただきたいものです。	いただきましたご意見を参考にさせていただきます。
38	ホールイベント(特にコンサート)開催時には平均3時間程度外へ出られないことが多いのでロビーやホワイエ内で軽食や飲料の提供が必要です。イベント種類によりますが、クラシックコンサートの休憩時に軽くアルコール等を嗜みながらの会話などもコンサートならではの楽しみとなります。常設は必要ないですが、主催者ではなく、施設管理者や近隣事業者が売店運営等を兼ねて安定的に運営できる条件を提示するのが望ましいのではないのでしょうか。	
39	経験上、利用者の8割強は女性です。休憩時間のトイレは混雑しますので、女子トイレに関しては、許す限り最大限の個数の整備をお願いします。トイレの列が解消しなければ2部の開演が遅れる等の支障が出ます。これが常態化するようであれば、演者からも避けられるホールになる可能性があります。	
40	館内の座席案内板、座席表示、その他諸々の案内表示について何故こんなところに表示があるのか?あるいは、ここがないのか?と困惑するホールもあります。利用者目線にたったサイン配置が必要です。また、備品関係でも、せっかく作っていただいたは良いが、使い方をよく知らないために、使い物にならないとか、笑えない話もあります。	
41	報道から、新ホールはプロセニアム方式で整備する計画であると知りました。私は音楽専用ホールではなく、多目的ホールを作ることから、多用途に使用できるこの方式には反対ではありません。コンサートもオペラも歌舞伎など演劇、舞踊にも適します。ただ、そのことについて、なぜそうするのか県民・市民に説明が必要と思われるます。	県民アンケートにおいて、「様々な演目(音楽、演劇を含む)に対応できる多目的ホール」が望ましいとの回答が7割程度あることに加え、大ホール・小ホールともに、音楽、演劇、舞踊等の公演や学会、大会等、幅広い分野での利用を見込まれることから、多彩な利用に適した「プロセニアム形式」とさせていただきます。
42	基本計画が決まり、設計段階に移るに際して、実績ある建設や音響・照明などの専門家集団に仕事をさせていただくよう、人選に注意をお願いします。取り返しのつかないうっかりミスは、新ホールには許されないことです。この新ホールでのオペラ公演にはオーケストラ・ボックスが必要です。オケ・ボックスは、多くの多目的ホールでは、オペラ以外の公演時には客席になっています。また、歌舞伎や舞踊、演劇公演で使う花道は、花道を使わない公演の時は客席になっています。仮に花道が可動式で整備されると、コンサートホールやオペラハウスはいわばどこにでもあるのに比べると、それだけで特徴ある地方のホールとなり得ます。	「オーケストラピット」や「花道」の設置について、基本計画(素案)に記載しておりますが、必要機能については精査してまいります。
43	第1回新ホール部会で歌舞伎の話も出ましたが、ここで歌舞伎は難しいという意見もあったが、これから作ろうとするホールをどうするか話す会議なのであって、どうすれば上演を受け入れられるかを相談する場のはずです。既に出来上がったホールの施設・設備との問題があって、無理だ、難しいという次元とは違うのではないかと思います。	いただきましたご意見を参考にさせていただき、歌舞伎等の古典芸能の公演にも対応した機能を備えてまいりたいと考えています。
44	近年の携帯電話等の普及に伴い、コンサート等進行時に客席から電話の呼び出し音が響き他の観客や演奏者がいやな思いをすることがあります。こうしたことを回避するために「携帯電話抑止装置」があり、主要ホールでは設置されています。徳島など地方ではまだまだコンサートマナーが行き渡っておらず、マナー呼び掛けとともにこうした機器の設置を是非お願いします。	いただきましたご意見を参考にさせていただきます。
45	ホールの入口はかっこよく、格調高いものがいいです。これから特別の空間に足を運ぶのだという、日常と非日常の境界線ですから、大切にしたい場所です。最近が多目的な建物の中にホールを含む形式が多くて、せっかくのエントランス(境界線)をパーテーションで区切るだけ、といった、とても残念な空間もあります。	
46	開場前は、たくさんの利用者を待たせるためのスペースが必要になります。また、昨今の新型コロナ感染症対策のため、入場前に検温と消毒をしていただくスペースが必要になっています。ある程度の広さは確保しないと運営が難しいと考えます。	
47	カフェ・レストランは、平日に周辺で働く人たちが普段使いしやすい場所に配置してもらいたい。	

「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「県市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
48	新ホールと近隣公園との一体的利用についての記述には大いに賛同いたします。今回の新ホール建設はもちろん箱物としてのホール建設がメイン事業ですが、これを機に「徳島中央公園」からかちどき橋付近までを県と市が協調し、一体的に再整備することで城山周辺から新町川に至る新たな魅力ある”憩い空間”が生まれ、例えば徳島中央公園からかちどき橋経由で新町川上・下流沿いの遊歩道へ安全・快適に散策できるコースの整備となります。8月の阿波踊り期間には線路を挟んで市役所前演舞場と一体となった新しいおどり広場ゾーンにもなります。	新ホール建設予定地は、徳島城跡として国史跡に指定されている徳島中央公園に隣接し、「鷲の門」をはじめとした様々な文化財等があり、県都・徳島の歴史的景観のシンボルになっている地域です。また、周辺には寺島公園や徳島中央警察署をはじめ、裁判所や城東高等学校、徳島市役所、税務署などの公共施設が集積しており、周辺環境を踏まえた施設配置等の配慮を行うとともに、親和性を鑑みすることは必要と考えています。新ホールの整備にあたっては、それらの立地の特性を活かし、施設単体としてだけでなく、街全体の魅力向上に寄与する施設として整備を図ってまいります。
49	新しい新ホールは、チケットを買った人や文化芸術の愛好者だけでなく、すべての人が通り掛かりに立ち留まり、「都市の楽しさ」を感じられる場にはどうでしょうか。そのためには公共施設や商業施設とリンクしあうことによって、気軽に立ち寄れる都市の結節点となる必要があります。一個や二個の目玉の建設、それ単独で徳島の将来が導けるとは思われません。新ホールは建物が文化的核になることに加え、街全体の魅力を育むための戦略的な手立として捉えられるべきだと思います。新ホールの都市への働きかけを十分考慮して、街路の優れたデザインと一体に捉え、押し進めるべきであると思います。感じの良い街並みの雰囲気であれば、目的地なしに気ままに散歩に出られ、他の人たちの繋がりのきつかけとなります。観光客には個々の施設を利用してもらうだけでなく、街の雰囲気を歩いて楽しんでもらうようにする、そのきつかけにすることが必要だと思われます。特に大勢いる高齢者や身障者、未成年、車を持たない観光客(特に外国や遠隔地から)が気軽に通りかかれることが重要であると考えます。車で来た人も、マチネ公演が終って駐車場に直帰するのではなく、中央公園や商店街へ歩いて行ければ、一日とても楽しいものになります。	
50	欧米では特徴ある自然環境を上手く利用したコンサートホールがあります。大変幸運なことに、新ホールは中央公園と一つながりになりうる。絶妙な立地条件で、これこそ世界でもユニークな存在にするでしょう。新ホールを公園の中の巨大な茶屋のようにして、コンサートを聞きに来る人だけでなく、人々が気軽に、通りすがりに立ち寄れるようにできます。今は疎らにしか利用されない公園へも人々を招いて、相乗効果があります。ホールが使われない屋間は市民に開放します。カフェ、レストランはもちろん、誰でも利用できるようにしてはどうでしょうか。	
51	建物を透明にする。これまでの徳島の建築デザインは 外を歩く人々に中の熱気を伝えませんでした。賑わっている様子が外から見れば、人々は賑わいに惹かれて、さらに集まり、その周辺が活気つきます。歩いていて、何か見つけて、面白いことがありそうなら、用がなくても、また来てみようと思うでしょう。ニューヨークのアリステリーホールは大通りに面して大きなガラス張りのホワイエをもっています。ホワイエはレストランとカフェになっていて、チケットを持たない通りすがりの人で一日中にぎわっています。その様子が外からも見えて誘われます。ついでに今晚のコンサートの案内をみて、チケットを買おうかという気になります。しかし、日本の多くのホールでは、チケットを買った者が、夜細々と利用だけなので見すばらしくなり、さらに人が入らなくなります	新ホールにおいては、「鑑賞する人」、「公演する人」、「活動する人」、「くつろぎに来る人」など利用する全て皆様の希望に応えることによって、活気に満ちつつ、外部からもにぎわいが感じられるような工夫を行い、思わず立ち寄りたくなる施設を目指してまいります。
52	駐車場は景観を殺風景にして、せつかくの美しい建物から人々を遠ざけます。利便性だけでなく建物や通りの関係に注意して場所選定を慎重に行い、さらにデザインそのものも植樹で囲んだり、車の間に植えたり、まるで無いかのように工夫することが欠かせません。車利用のみが便利になって、ますます街は殺風景になり、人々を遠ざけるという悪循環が始まってしまいます。確実に街が楽しくなるのを妨げるし、観光都市と呼ぶには矛盾しています。人が都市に集う理由は消費と用を足すためだけではないはずで、街で買い物をするのは商品を手に入れるためだけでなく、ショッピングの楽しみ、感じのいい雰囲気に触れたいからでしょう。ここで述べたことは建物の見栄えや、施設内容についてではなく、それをどう市中に見せるか、それをどう街とリンクして賑わいに繋がられるかが鍵になるだろうということです。	いただきましたご意見を参考にさせていただき、周辺との親和性を鑑み、来館者駐車場を含めて、可能な範囲で緑化に努めることを追記させていただきました。
53	公共施設整備コストは、往々にしてインシヤルコストには金を掛けるが、必要な維持・ランニングコストは予算計上されにくく、建物・装置の老朽化が進んでも必要な時期に必要なコストが確保されにくいといえます。こうしたことから、次のように記述されることを望みます。「将来にわたり長く、機能的に利用する施設として、安心・安全・快適に利用するために必要な経費を中長期的に捉え、ライフサイクルコスト低減に配慮した計画とします。」	いただきましたご意見を参考にさせていただきます。
54	現在中央公園から旧・文化センター側への徒歩アクセスは立体交差に架かる細い陸橋のみで私の記憶では50年以上改善されていませんが、今回の事業を機に、立体交差上に中央公園と今回の敷地を結ぶ同一平面で幅10m以上の自歩道としていただけないでしょうか。荷重はかからないので大きな工事にならずその効果は非常に大きいと思います。これにより車椅子等で一体をスムーズに行き来できるバリアフリー空間とすれば障がい者や高齢者等が安心できるユニバーサルデザインに合致したものとなります。	

「縣市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「縣市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答
55	改正健康増進法の改正趣旨に則り、施設内以外においても受動喫煙防止策(できれば敷地内禁煙)を最大限講じていただきたい。	「受動喫煙対策を強化する改正健康増進法」を踏まえて、可能な限り、受動喫煙防止策に努めてまいります。
56	あれだけ広大な敷地面積で膨大な費用をかけて建設するのはいいのですが、建設費用はもちろん、維持費、稼働率等の採算面はどれ程考慮されているのでしょうか。	整備費や運営費の考え方は46～50ページに記載させていただいております。詳細については、今後の「管理運営計画(仮称)」でお示しさせていただきたいと考えております。
57	身の丈にあった事業費となるよう見直してもらいたい。	新ホールの整備については、約30年の長きにわたって検討が行われてきた課題であり、県都に1000席以上の客席規模の公共ホールがない状況が続く中で、多くの県民が期待している新ホールの早期整備を図ってまいりたいと考えています。新ホールの整備は、「文化芸術振興」や「担い手育成」、「観光振興」、「にぎわい創出」など、徳島県全体の様々な課題解決につながるものであり、県民アンケートや縣市協調未来創造検討会議等のご意見を踏まえ、今回、必要となる施設構成や機能とともに整備費についてお示しました。今後、活用の可能性のある国庫補助金・交付金事業や、交付税措置のある起債等、可能な範囲で有利な財源が確保できるよう努めてまいります。
58	音楽ホールの建設を待ちわびていた県民の一人です。徳島県の現状からは身の丈に合ったホールにすべきだと考えます。ここをランドマークとして賑わいを創出し、とありますが、私の県外での観劇等へ出かけた時はその目的達成だけとし、観光などに足が向きませんでした。新駅ができれば、今の徳島駅前はどんな姿になるのでしょうか？若者の流失を止めたいとの目的がありますが、暮らしが安定してこそ芸術・文化を楽しむゆとりが出てきます。今の徳島には魅力ある職場が少なく、時給も安いため都市部へ流れて行っています。デジタル化に向けていち早く取り組んできた今までの取り組みを活かして、雇用の場を増やしていただきたいと思います。アステイ徳島とか文化の森など既存施設の活性化などにより、少しコンパクトなホールとし、これからの県民負担を軽くしてほしいと願っています。大ホールの規模もせいぜい1800席とし、以前の文化センターには無かった小ホールがあれば十分だと思います。音響とかの整備には素案に盛り込んだように最新式の性能のよいものにしていただきたいとは思いますが。	
59	文化センター跡地に決定していた1500席規模の音楽ホールを県立ホールとして改めて100億円以内での規模で建設することを希望します。ホールが大きくなれば管理費増えます。以前の新町西のホール計画では管理費は年間4億円でしたが、県立ホールはそれ以上でしょう。トモニプラザも中央公民館も福祉センターも最近15億の耐震工事を終えていてこれから使えます。どうして壊して新しく建て替える必要があるのでしょうか？500席多いホールのために借金で建設することはそっくり負担を次世代に残すことになります。県の財政も一時期の危機的状況は脱しても不透明な状況は続きます。箱物が後世の無用のお荷物にならないよう県も身の丈にあった節度ある対応が必要だと提言します。	
60	コロナ不況下で県民一人当たり3.5万円ほどの負担で新ホールを作ります。徳島駅から近くに更に駅を作ります。Go To公共事業と言えそうです。人口がどの程度になり、利用の予測がどの程度かも示されません。ただ、金を使うだけの事業です。徳島市のホールになぜ県は加わらねばならないかも県民は納得していません内藤市長の支持が、県費を使うようになった必要を認めません。少なくとも、駅は要らない、規模は縮小。身の丈に合ったものを望みます。	
61	税金の節約の為、クラウドファンディングをお願いします。高額寄付者には、記念としてホールのどこかに名前を彫ってあげれば喜んでくれると思います。	クラウドファンディング等の実施を検討し、県民の新ホール整備への参加意識を高める取組を進めまいりたいと考えております。

「縣市協調新ホール整備基本計画(素案)」に係るパブリックコメント実施結果について

令和3年2月5日(金)から令和3年2月22日(月)までの間、「縣市協調新ホール整備基本計画(素案)」に対するご意見を募集した結果、29名の方から69件のご意見をいただきました。いただきましたご意見と県の考え方は次のとおりです。

番号	意見(概要)	回答	
62	事業費の負担割合が示されていませんが、徳島市の負担割合はどうなるのでしょうか。徳島市が計画していたことなので、計画していた事業費相当は負担すべきではないでしょうか。県民ホールとしてはあわぎんホールがあります。県立ホールの代替になるのなら話は分かりますが、あわぎんホールも存続しながらでは、市民ホールの肩代わりです。徳島市だけが市民ホールを県に丸投げし、住民負担が軽減されるなど許されません。幅広い県民理解なくして、本当の県市強調とはいえないと思います。	<p>それまで膠着状況にあった新ホール整備の早期実現に向け、令和2年9月に、縣市協調未来創造検討会議を発足し、縣市協調による検討を開始しました。県民アンケートの結果や同会議でのご意見等も踏まえまして、令和2年12月に、基本方針を策定し、さらに、今回、基本計画(素案)をお示したところですが、新ホール整備は、「文化芸術振興」や「担い手育成」、「観光振興」、「にぎわい創出」など、徳島県全体の様々な課題解決につながるものであり、県下全域・広範囲にその効果は拡大していくものであることから、県立施設として県が主管することいたしました。また、今後も新ホールを整備していくためには縣市協調体制の堅持は必要不可欠であると考えておりますが、分担の考え方は16ページに記載したとおり、県と市の役割に応じて、必要となる経費をそれぞれで負担することとし、県議会・市議会でもお示しさせていただきました。今後、それぞれの役割により、県民・市民のニーズに応じてまいるとともに、活用の可能性のある国庫補助金・交付金事業や、交付税措置のある起債等、可能な範囲で有利な財源を確保し、少しでも負担が抑えることができるよう努めてまいります。</p>	
63	市はもともと投資しようとしていた経費90億円は最低負担するべき。また運営開始後の費用についても負担するべき。アミコビルの今後、新駅設置含めて中心市街地活性化の県と市の役割分担、費用負担のありかたを決めてからやらないと、場当たり的で、戦略が見えない。アンバランスや無駄が発生する。この計画にはこうした点を解決するよう修正を絶対にしてもらいたい。		
64	徳島市の負担割合が示されていませんが、元々徳島市が行うものだったので、工事費についても相応の負担を求めるようにしてください。		
65	徳島市長は自分の給与減額措置を緩和。その理由が文化ホールを県立にしたので、財政負担が減ったから。県の負担は200億円をはるかに超えている。県は本当にこんなこと許していいのでしょうか？郷土文化会館の建て替えなら、まだ分かりますが、郷土文化会館は使いながら、ホールがプラスになっている。建設費だけでなく、維持管理費までかかります。建てた当初いいでしょう。でもやがて老朽化し、維持管理費も増え、そのうち建て替えの話になります。人口減少は頑張っても抗いようがないと思います。大きなホールが、この小さな県にいくつもいるのでしょうか。本当に県民のコンセンサスを得られているのでしょうか。こんな大規模な文化ホール事業が、簡単に進んでいいのか。		
66	市の負担が少なすぎるので、もっと負担させるべき。		
67	本来市が建設すべきホールを県が建設し、市の財政を助けるのはいかがなものか。徳島市にも応分の負担を求めるべきである。		
68	10年前に12億でリニューアルした青少年センター、8億で耐震化した中央公民館、福祉センター、我々が納めた血税のことを何だと思っているのでしょうか。徳島市所有の土地は我々市民の財産です。断固、現在の新ホール整備に反対致します。		
69	本計画には、PFI等の活用、指定管理の想定も記載されていますが、これらの部分は新しい概念でわかりにくいので詳しく記載した方が良いと思います。		ご指摘も踏まえ、用語の解説等の補足を行いました。